

[会告（通常総会議事録）]

国際ジオシンセティックス学会日本支部  
1996年度 通常総会

総務企画委員会

期 日：1996年2月21日（水）15:00～16:30

会 場：（社）地盤工学会会議室（東京都千代田区）

出席者：岩崎高明幹事長ほか 136名（うち委任状117名）

議 事：

1. 開会宣言

熊谷浩二幹事から出席者・委任状数の報告があり、日本支部規定に基づき通常総会として成立したことが宣言された。

2. 議長選出

熊谷浩二幹事から、日本支部規定に基づき議長に岩崎高明幹事長を推薦する旨の提案がなされ、全員一致で了承された。

3. 議長挨拶

岩崎高明議長から以下のような挨拶があった。

福岡正巳支部長が入院中で欠席のため、本日は私が代行する。本日は、日本支部の活動について活発な討議を期待し、より実りのある活動に繋げていきたい。

4. 1995年度 事業の報告

岩崎高明議長から報告があり、討議の結果資料〔議題4. 1995年度事業の報告〕のように了承された。

日本支部の昨年度活動としては、「国際ジオテキスタイル学会」からの名称変更について会員および関係団体への周知を図るとともに、ジオメンブレン技術委員会（堀口隆司委員長）の毎月開催、「第2回ジオメンブレン技術に関するセミナー」の開催および「ジオメンブレン技術概説—設計と施工—」の発行、会誌「ジオシンセティックス技術情報」の充実、講演会・シンポジウムの開催などがある。また、ジオシンセティックスシンポジウムが10回を数え、その祝賀パーティを開催している。

5. 1995年度 収支決算の報告

丸山健吉幹事（会計担当）—代理 藤田氏—から報告があり、討議の結果、資料〔議題5. 1995年度収支決算の報告〕のように了承された。

6. 1995年度 監査報告

堀家茂一幹事（会計監事担当）から、事前に収支報告を監査の結果、適正でかつ正確であることを認める旨報告された。

## 7. 1996年度 事業の計画

熊谷浩二幹事から説明があり、討議の結果資料〔議題7. 1996年度事業の計画〕のように了承された。

なお、各事業計画を早めに検討することが内容や収支の充実につながるので、幹事会は年4回（3、6、9、12月）開催することとした。また、毎月開催の総務企画委員会（新井 斉委員長）で見直しながら各活動を積極的に進めていくこととした。総務企画委員会の構成は、各委員会の委員長を含め次の通りである。

委員長：新井 斉、顧問：福岡正巳、幹事：大倉史郎、委員：赤木俊允・今泉繁良・岩崎高明・熊谷浩二・龍岡文夫・堀口隆司・丸山健吉

## 8. 1996年度 予算の計画

岩崎高明議長の指示で、丸山健吉幹事（会計担当）―代理 藤田氏―から説明があり、討議の結果資料〔1996年度予算の計画〕のように了承された。

## 9. 1996年度 一部役員の変更

熊谷浩二幹事から説明があり、討議の結果資料〔議題9. 1996年度一部役員の変更〕のように了承された。

## 10. 規定の変更

熊谷浩二幹事から説明があり、IGS本部が1994.9月に「国際ジオシンセティックス学会」と名称変更したことに伴う修正の報告（前回通常総会です済み）、および「（社）土質工学会」が1995.6月に「（社）地盤工学会」に名称変更したことに伴う修正について説明し、了解された。

なお、この規定に従って運営するようより努めるべきとの意見が出され、議長から「幹事会や総務企画委員会等を定期的で開催して、規定に沿った運営を今後より一層進めていく」旨の発言があった。

## 11. 閉 会

閉会后、同会議室で懇親会が開催された。

（記 熊谷浩二）

資料 [ 議題 4 . 1 9 9 5 年度事業の報告 ]

1 ) 会員数	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1 9 9 5 年 1 2 月	1 名	2 0 0 名	1 4 名	2 2 社	2 3 7
				(グループ 1 含む)	

2 ) 刊行物の発行

- ①国際ジオテキスタイル学会日本支部名簿(1995. 2月)
- ②ジオシンセティックス技術情報(日本支部ニュース)(1995. 3月、7月、12月)
- ③第2回ジオメンブレン技術に関するセミナーテキスト(1995. 4月)
- ④ジオテキスタイル講演会テキスト(1995. 3月)
- ⑤第10回ジオシンセティックスシンポジウム発表論文集(1995. 11月)
- ⑥ジオメンブレン技術概説(1995. 10月)
- ⑦ビデオ「ランドフィルにおけるジオシンセックス」およびカーナ-著「デザイン ウイズ ジオシンセックス」の頒布

3 ) 開催した行事

- ①第2回ジオメンブレン技術に関するセミナー(4/6(木) 於中央大学記念館 参加者60名)
- ②ジオテキスタイル講演会(3/16(木) 於中央大学記念館 参加者60名)
- ③第10回ジオシンセティックスシンポジウム(11/30(木) 於中央大学記念館 参加者 100名)
- ④ジオメンブレン技術入門講習会(10/12(木) 於中央大学記念館 参加者80名)
- ⑤シンポジウム10周年記念祝賀会(11/30(木) 於中央大学記念館 参加者20名)

4 ) 委員会等の活動

- ①1995年度通常総会 (1/19(木))
- ②幹事会 2回(4/25, 11/6)
- ③編集委員会 4回(1/10, 3/30, 8/9, 12/18)
- ④行事委員会 2回(6/14, 11/15)
- ⑤ジオメンブレン技術委員会 9回(1/20, 2/14, 3/16, 5/17, 6/14, 7/4, 9/12, 11/6, 12/13)
- ⑥構造解析の実用化技術委員会(準備会) 2回(9/20, 10/31)
- ⑦総務企画委員会 1回(1/17)

5 ) I G S 本部の関連

- ①理事会への出席(於米国ナッシュビル2/19.20 フランスポ-ヌ 9/28):福岡支部長、赤木理事
- ②英文名簿を本部送付
- ③I G S 本部への報告および連絡

1995年度(平成7年度)決算書  
(自平成7年1月1日～至平成7年12月31日)

1996年2月21日  
会計幹事 丸山 健吉

(収入の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	会費収入 個人 8,000- 法人 240,000- 学生 3,000- (小計)	220名 25社 50名	1,760,000- 6,000,000- 150,000- (7,910,000)	190名 22社 3名	1,520,000- 5,280,000- 9,000- (6,809,000)		
2	講習会テキスト		250,000-		0-		
3	シンポジウム論文集		300,000-		231,000-		
4	出版物収入		700,000-		169,500-		
5	I G S本部還付金		346,500-		339,593-		
6	受取り利息		4,000-		2,184-		
	小計		9,510,500-		7,551,277-		
7	前年度繰越金		54,434-		54,434-		
8	その他		0-		812,000-		
	合計		9,564,934-		8,417,711-		

(支出の部)

科	目	予	算	決	算	備	考
1	国際学会費 個人 45ドル 法人 1,000ドル (小計)	1ドル = 105円 220名 25社	1,039,500- 2,625,000- (3,664,500)	193名 22社	(2,493,873)		
2	国際会議派遣費		900,000-		600,000-		
3	ニュース印刷費		750,000-		684,795-		
4	講習会費		350,000-		420,798-		
5	シンポジウム費		350,000-		368,740-		
6	各種委員会費		500,000-		445,791-		
7	事務経費		100,000-		100,000-		土質工学会への御礼
8	通信費		350,000-		508,881-		
9	消耗品費		100,000-		174,672-		
10	印刷製本代		600,000-		377,778-		
11	備人費		1,200,000-		681,670-		
12	手数料		30,000-		24,538-		
13	積立金		200,000-		0-		
14	その他		30,000-		877,705-		
15	予備費		400,000-		0-		
	小計		9,524,000-		7,759,241-		
16	次年度繰越金		40,434-		658,470-		
	合計		9,564,934-		8,417,711-		

# 監査報告書

国際ジオテキスタイル学会日本支部

1995年（平成7年度）収支決算報告書  
（自平成7年1月1日～至平成7年12月31日）

収入合計      ¥8,417,711-

支出合計      ¥8,417,711-

上記につき預金通帳・領収書に基き、帳簿を監査の結果適正でかつ正確であることを認めます。

平成8年2月21日

会計監事 堀家 茂



会計監事 山田 知正

資料〔議題7. 1996年度事業の計画〕

1) 会員数拡大のための活動

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1995年12月	1名	200名	14名	22社	237
1996年(目標)	1名	210名	20名	23社	254

(グループ1含む)

2) 刊行物の発行

- ① 国際ジオシンセティックス学会日本支部名簿(1996. 3月)
- ② ジオシンセティックス技術情報(日本支部ニュース) 3回/年(3, 7, 11月発行)
- ③ 第3回ジオメンブレン技術に関するセミナーテキスト
- ④ ジオシンセティックス講演会テキスト
- ⑤ 第11回ジオシンセティックスシンポジウム発表論文集(1996. 12月)

3) 行事の開催

- ① 第3回ジオメンブレン技術に関するセミナー
- ② ジオシンセティックス講演会
- ③ 第11回ジオシンセティックスシンポジウム(12月上旬 於東京)
- ④ 学生向講演会
- ⑤ その他

4) 委員会等の活動

- ① 1996年度通常総会 (2月21日)
- ② 幹事会 4回(3, 6, 9, 12月)
- ③ 編集委員会(委員長 赤木俊允) 3回(4, 8, 12月)
- ④ 行事委員会(委員長 今泉繁良) 都度
- ⑤ ジオメンブレン技術委員会(委員長 堀口隆司)  
8回(1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 9月)
- ⑥ 総務企画委員会(委員長 新井齊) 毎月
- ⑦ 広報委員会(委員長 龍岡文夫)

5) IGS本部の関連

- ① 理事会への出席
- ② 英文名簿を本部送付
- ③ IGS本部への報告および連絡

1996年度(平成8年度)予算計画案  
(自平成8年1月1日～至平成8年12月31日)

1996年2月21日  
会計幹事 丸山 健吉

(収入の部)

科	目	予	算	備	考
1	会費収入 個人 8,000- 特別 240,000- 学生 3,000- (小計)	210名 23社 20名	1,680,000- 5,520,000- 60,000- (7,260,000)		
2	講習会テキスト代		300,000-		
3	シンポジウム論文集		300,000-		
4	出版物収入		100,000-		
5	I G S本部還付金		0-		
6	受取り利息		10,000-		
	小計		7,970,000-		
7	その他(広告費)		200,000-		
8	前年度繰越金		658,470-		
	合計		8,828,470-		

(支出の部)

科	目	予	算	備	考
1	国際学会費 個人 30ドル 特別 1,000ドル (小計)	210名 23社	680,400- 2,484,000- (3,164,400)		1ドル=108円
2	国際会議派遣費		750,000-		
3	技術情報発行費	年3回	1,000,000-		編集委員会担当
4	講演会シンポジウム開催費	年2回	800,000-		行事委員会担当
5	ソムリエ技術(委)費	年7回	200,000-		
6	構造解析の契機(委)費		100,000-		
7	その他委員会費		300,000-		総会・幹事会・総務・広報
8	事務経費		100,000-		(社)地盤工学会謝礼
9	傭人費		1,000,000-		
10	消耗品費		100,000-		
11	通信費		300,000-		
12	手数料		30,000-		
13	積立金		0-		
14	その他		50,000-		
15	予備費		0-		
16	前期未払分引き当て		1,600,000-		
	小計		9,444,400-		
17	次年度繰越金		▲615,930-		
	合計		8,828,470-		

資料〔議題9. 1996年度一部役員の変更〕

以下の役員の改選（○印は新任）、※印は非改選

支 部 長	福岡 正巳	東京理科大学理工学部土木工学科
支 部 顧 問	田中 茂	(財)建設工学研究所
〃	山内 聡	山内研究所
幹 事 長 事	岩崎 高明	三井石油化学工業(株)、三井石化産資(株)
〃	赤木 允裕	東洋大学工学部環境建設学科
〃	阿部 齊	鹿島建設(株)技術研究所
〃	新井 雅夫	前田建設工業(株)営業本部土木営業第3部
〃	伊藤 清	前田建設工業(株)施工本部土木課
〃	笠原 廣貴	前田工織(株)技術部
〃	川崎 洋司	清水建設(株)土木本部技術第一部
〃	菊地 浩二	日特建設(株)基礎本部
〃	熊谷 紀男	前田建設工業(株)技術研究所
〃	小林 祥克	(株)クラレ東京産資販売部
〃	小坂 昌彦	三井石化産資(株)土木資材事業部
〃	鈴木 茂	大成建設(株)国際事業本部営業部
〃	鈴岡 文夫	日本ゼオン(株)環境資材事業部土木資材第2部
〃	※龍岡 雅敏	東京大学工学部土木工学科
〃	田中 英樹	(株)田中 開発部
〃	塚本 胤英	(株)建設企画コンサルタント総務部
〃	鶴岡 和之	(株)銭高組 技術研究所
〃	中村 達明	東急建設(株)技術研究所
〃	西形 盛一	関西大学工学部土木工学科
〃	○新田 文伯	太洋興業(株)建設資材部
〃	橋詰 知正	大都工業(株)技術研究室
〃	山田 真一	東洋紡(株)スパンボンド事業部
〃	高橋 隆司	(株)大林組 技術研究所土木第2研究室
〃	堀口 茂彦	(株)ジオトップ
〃	堀家 勝彦	(株)熊谷組 技術本部
〃	卷内 孝之	日本大学理工学部交通土木工学科
〃	榎尾 一男	太陽工業(株)土木エンジニアリング事業部
幹 事 ( 会 計 担 当 )	松本 健吉	シーアイ化成(株)土木産業資材部
〃	丸山 史博	岡三興業(株)開発事業部
〃	三木 修	建設省土木研究所材料施工部土質研究室
〃	村田 恒雄	(財)鉄道総合技術研究所
〃	山下 真一	農林水産省四国農業試験場基礎整備室
〃	大和 進	旭化成工業(株)ジオ技術開発部
〃	吉川 義治	三菱化学産資(株)土木資材部
〃		(株)水野工学研究所
会 計 監 事	山田 知正	前 掲
〃	堀家 茂一	前 掲
事 務 局	吉岡 紀男	( 社 ) 地 盤 工 学 会
〃	大倉 史郎	
〃	熊谷 真知子	